

(公財)京都市男女共同参画推進協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

基本事項

所管局課	文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	「第4次京都市男女共同参画計画」の重点分野である「DV対策の強化」や「真のワーク・ライフ・バランスの推進」など様々な事業を実施し、京都市域全体における男女共同参画の推進を目指す。
財務面	京都市以外の自治体や大学、企業からの受託事業の増加等により、特定の収益に極端に依存しないバランスのとれた協会運営を目指す。
組織面	当協会の3つの基本姿勢である「支援」、「育成」、「提言」の下、関係機関等と協働ができる人材を育成するとともに、職員の資質や能力の向上及び組織風土の改善や活性化を目指す。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>業務については、平成28年3月に策定した第4次京都市男女共同参画計画「きょうと男女共同参画推進プラン（改定版）」の方針に基づき、情報発信や講座の開催など男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を行っていただきたい。また、相談員養成講座を通じた相談員の確保に努め、大学等における相談室への相談員派遣事業につなげていただきたい。</p> <p>財務については、本市からの受託事業など特定の収益に依存しない運営ができるよう、多様な機関からの事業受託や助成金への応募、寄付金の呼びかけ等により、収入を確保し、安定した経営を行っていただきたい。</p> <p>組織及び人員については、平成26年に策定した中期経営計画に基づき、関係機関等と協働ができる人材を育成することで、組織の活性化につながる組織運営に取り組んでいただきたい。また、職員個人のスキルアップと利用者目線に立ったサービスの向上に今後も常に取り組んでいただきたい。</p>
-----	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	<p>業務に関しては、ギャラリースペース新設、図書情報室のリニューアルを契機として、新しい層への男女共同参画の理念の浸透を図り、専門的な情報発信拠点としての事業が展開できた。また、前年度に引き続き男女共同参画推進の担い手の育成に注力した。</p> <p>財務に関しては、平成29年度も引続き単年度黒字を計上することができた。</p> <p>人材育成に関しては、経費節減や限られた体制の中、研修等が組みにくい状況ではあるが、今後の協会運営を見据えた人材育成につながる研修を実施し、組織としての充実・強化を図ってまいりたい。</p> <p>さらに、平成31年度からのセンター指定管理者の応募、更に団体自律化といった動きに確実に呼応し、様々な環境変化にも柔軟に対応できる安定的かつ強固な経営基盤の確立に向けて努めていきたい。</p>
-------	---

所管局(※)

業務については、安定した事業の実施が一定できている。今後も、相談員の確保又は養成により一層努め、計画的な人材育成を図るとともに、新たなニーズにも柔軟に 대응していくことが望まれる。
財務については、経費節減に向けた努力や事業収益増収等により平成29年度も黒字を継続することができた。
今後も、自律化に向けて、企業や団体等からの事業受託を増加させる等により、安定的な経営を継続することが望まれる。

外郭団体総合調整会議
(※)

財源の多角化のため、本市以外からの受託事業や寄付金の確保など、財源の多角化に取り組み、目標を上回る実績となったことは評価できる。
一方で、相談事業については、相談件数が伸び悩んでいる。相談の質を向上させるとともに、相談件数も増加させることで、本市における男女共同参画の推進により一層取り組んでいく必要がある。

(1)業務に関する取組

目標「男女共同参画の視点を持った相談員の養成」	
中期経営計画 における取組	あらゆる相談窓口に関わる人を対象に、ジェンダーの視点を持ち、個人の問題を社会の問題として捉えることのできる人材の養成を目指し、連続講座を実施する。また、講座修了生を対象に当協会でのインターンシップを実施し、ジェンダーの視点を持った相談員を確保し、京都市域の大学におけるハラスメント相談室等への相談員派遣事業に取り組む。
当年度目標	①相談員養成講座の実施 これまでに実施したプログラムを検証し、実践的な講座を実施する。 ②インターンシップの実施 平成28年度の養成講座終了生(21名)を対象とし、参加人数2名を目標とする。 ③相談サポーター登録事業の実施 平成29年度インターンシップ修了生(2名)及び平成28年度の修了生4名を併せ、6名の登録を目標とする。 ④大学相談室等への相談員の派遣 相談サポーター登録者から相談員を確保・養成し、大学相談室への派遣事業を実施する。
当年度結果 (※)	インターンシップ生1名を受け入れ、ジェンダーの視点を持った相談の受け方を学んでいただくとともに、相談サポーターとして登録した。 インターンシップ生を受け入れることで、当協会相談員のスキルのブラッシュアップにつながり、相乗効果が得られた。

指標	相談員派遣人数 (単位:名)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	0		0		2		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	0	0	0	0	0	2	—	0

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	215,720	219,927	215,310	216,291	215,570	220,083	
経常費用	233,252	231,066	233,929	213,060	215,570	210,131	
当期経常増減額	△ 17,532	△ 11,140	△ 18,619	3,231	0	9,952	
当期正味財産増減額	△ 19,732	△ 13,401	△ 19,159	1,970	0	8,070	
資産合計	—	225,110	—	229,668	—	246,260	
負債合計	—	89,978	—	92,567	—	101,088	
正味財産	—	135,131	—	137,101	—	145,172	
うち累積損益額	—	85,131	—	87,101	—	95,172	

目標「様々な機関からの受託事業等の充実による収益増加」

中期経営計画 における取組	京都市からの受託事業や補助金事業などの特定の収益に依存しない運営を目指し、自主事業だけでなく、京都市以外の団体からの受託事業、助成金への応募、寄付金の呼びかけなどにより収益増加を図る。
当年度目標	自主事業収入だけでなく、京都市以外の機関からの受託事業収入・助成金・寄付金を、合計で32,000千円確保する。
当年度結果 (※)	自主事業収入、助成金金額及び寄付金金額、京都市以外の機関からの受託事業金額等の合計額は36,178千円であり、新規事業の受託等により目標額を上回るとともに、前年度と比較して増収した。 今後も受託事業の獲得や寄附金等の呼びかけを積極的に行いたい。

指標	京都市以外の機関からの受託事業金額、自主事業収入金額、助成金金額及び寄付金金額の合計							
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
中期経営計画	—	30,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	29,926	30,000	30,712	32,000	32,602	32,000	—	36,178

(3)組織に関する取組

目標「人材育成の強化」

中期経営計画 における取組	人材育成計画を策定し、計画に基づく多様な研修を実施することによって、関係機関等と協働ができる人材を育成する。
当年度目標	前年度に実施した研修を踏まえ、さらに各自の目的に沿った研修を実施する。 ・組織力の向上…「ファシリテーション能力向上」「テーマ別ミーティング」「パワーハラスメント研修」など ・次世代リーダーの育成…「リーダーシップ研修」など
当年度結果 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ●当協会の今後の人材育成のあり方等についての勉強会を実施(全2回 11/17、12/15) 課長及び係長 ●当協会の現在の経営状況及び将来の見通しに関する説明・協議のためのミーティングを実施(1/24) 係長及び係員 ●管理職対象の研修として、京都市主催「外郭団体講習会『経営基盤強化のために』」に参加。(11/21)

指標	人材育成計画に基づく人材育成研修の実施回数 (単位:回)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	10		10		8		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	人材育成 計画策定	10	15	10	5	8	—	3